

令和6年度 八戸駅周辺まちづくり全体会議 (令和6年7月27日)実施報告書

目 次

1. 日時・場所及び出席者	2
2. 会議の様子	3

令和 6 年 8 月

八戸市都市整備部

都 市 政 策 課

1. 日時・場所及び出席者

タイトル：令和 6 年度 八戸駅周辺まちづくり全体会議

日 時：令和 6 年 7 月 27 日（土） 14:30～16:30

場 所：ユートリー 5 階 視聴覚室

参 加 者：【盛り上がり隊】

箱崎 真也 様	箱崎 彩英子 様	岡田 英 様
鳥谷部 勇樹 様	工藤 騰 様	在家 秀則 様
小関 勉 様	清野 友佳 様	畠山 智 様

【まちづくり準備協議会】

村下 萬 様	院去 公紀 様	馬渡 健 様
--------	---------	--------

【クロススポーツマーケティング株式会社】

木村 将司 様	高橋 渉 様
---------	--------

【一般参加者】

在家 正行 様	松山 政義 様	金久保 友菜 様
丸山 和貴 様	柳沢 拓哉 様	宮崎 光世 様
山本 耕一郎 様	栗林 志音 様	濱谷 貴乃 様
長谷部 美穂 様	古賀 広幸 様	武部 尚徳 様
奥山 大 様	浅井 純子 様	木村 聡 様

【アドバイザー】

柏の葉アーバンデザインセンター副センター長	三牧 浩也 様
まちなか広場研究所（マチニワアドバイザー）	山下 裕子 様

【事務局】

都市政策課	石橋 敏行	次長
	田鎖 隆	参事
	八森 明広	主幹
	石橋 賢弥	技師
	田村 滯	技師

2. 会議の様子

【第1部】

1. 開会

定刻に開会した。



写真1：会議の様子①



写真2：会議の様子②

2. 主催者挨拶

(事務局 石橋)

まちづくり全体会議は、八戸駅西地区のシンボルロード沿いのまちづくりについて地域の皆様と一緒に考えていきたいと思いますということで始まったのがきっかけ。昨年度に引き続き今年度も盛り上がり隊や事業者の皆様の発案による歩行者天国やイベントなどの活動があり、今回の会議は、その報告などを中心に今後のまちづくりの在り方、組織体制などについて皆さまと情報共有したり、意見交換したりする場となっている。

本日はまちづくり準備協議会の皆様や盛り上がり隊の皆様などいろいろな方にお集まりいただいているので、この会議を通してまちづくりについて議論できればと思う。

3. まちづくりの経緯と状況の報告

※八戸駅西地区のまちづくりにおける経緯と状況について報告

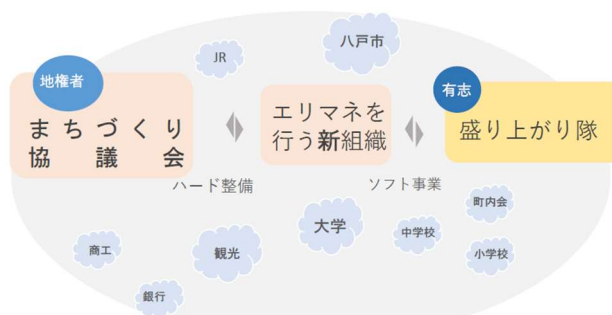
平成30年度にフラットアリーナを核としたまちづくり計画を作成し、それに沿ってまちづくりを行ってきたが、昨年度から町内会や盛り上がり隊、事業者の方々による歩行者天国が実施され、まちづくり計画で描いていたパースが実現されてきている。

まちづくり計画の中でエリアマネジメントを行う組織について整理していたが、令和6年度の現状ではその体制をにわかに確立するのが少し難しいので、イベントなど何かやるときには実行委員会形式で行うのも一つの手段である。今後エリアマネジメントを行う新組織の設立をしていくべきと考えているが、まちづくり準備協議会を母体にするかどうかはどうしていくかは様々な考え方があろうと思うので、関係の皆様の意見を聞きながら進めて行ければと思う。

本日は様々な立場の方々にお集まりいただいたので、新組織のイメージや今後できそうなこと、また、組織の話に限らずスポーツをテーマにしたまちづくりについて意見交換できればと思う。



写真3：第2回8フェスの様子



図：各種組織の次のステップのイメージ

4.八戸駅かいわいで盛り上がり隊の取り組み紹介

(盛り上がり隊 箱崎 真也)

盛り上がり隊では毎月定例会を行っていて、毎月の小さな活動の積み重ねがフラット八戸でのラジオ体操や東北フリーブレイズとのコラボ企画、さらには8フェスといった大きなイベントの実施に繋がったのと思う。第2回8フェスでは三条中学校の生徒がボランティアスタッフとして参加してくれたり、東北電力労働組合の方々がボランティアで交通誘導をしてくれたりと、様々な方々に協力いただいて実施できた。

盛り上がり隊はボランティア活動で当然無報酬だが、活動を継続するためには集まることがそもそも楽しいと思えることが大切だと思う。今日定例会に行ったら楽しそうだなと思えることがまず一つで、ただ、それだけでは何も生み出されないの、8フェスのような大掛かりなことだけじゃなくて毎月何かやれることを考えようというのがいいと思う。

持続性の高い組織というのは心理的安全性が高い組織だと考えていて、話しやすいこと、助け合えること、チャレンジできること、ご新規さんを歓迎する雰囲気があることというこれら4つがあると持続性は高くなる。盛り上がり隊がこのような組織になるといいなと思っているので、楽しみながら活動を続けていきたい。



写真4：箱崎 真也 氏

5.アドバイザーによるミニ講演

(1) まちづくりにおける社会資本 ……… 山下 裕子

八戸駅周辺でこれだけ活動されている皆さんがいることは本当に素晴らしいことで、新幹線駅としては最もソーシャルキャピタルが醸成されているのではないかと思います。物や資金、設備だけではなく関係性も資本であるが、何か活動をしたい人同士が会える機会というのは中々ない。そんな中で盛り上がり隊の活動があれば、そういう人たちも加わりやすくなり、活動が広がる可能性があるのではないかと思います。

また、八戸駅の自由通路の半分が地元の人が使いやすい状態になっていることは大変稀で、先日も駅で書道展をしていたが、そういった表現活動の場として今後もっと活用できるといい。

シンボルロードは区画整理事業によって生み出された道路だが、是非その道路を広場的に使って滞留行動を起こしていただきたい。八戸駅前には建物ばかりではなく、空が広がっていて非常に価値のある空間なので、そこで定期的に開かれた場作りをすることで、いろいろな人が参加しやすくなり関係性を広げることもできるし、滞留行動を起こすことにも繋がる。定期的な集まりの開催は大切だが、言葉だけのコミュニケーションは苦手な人が多いので、清掃活動やラジオ体操などの活動が一緒にあると参加しやすいと思うので、そういった活動もしてもらえればと思う。



写真5：山下 氏

(2) 八戸駅西のこれからに向けて これからのまちづくりに必要な場と組織 …………… 三牧 浩也

八戸駅西地区まちづくり計画にはエリアマネジメントの組織としてまちづくり会社を立ち上げるというイメージが書いてあるが、それがどういうものかわかりやすく分解すると、四つの場・組織が必要になる。一つ目は、無責任でもいいからいろいろな人が集まってアイデアを出したり楽しく議論できたりするような場を作ること。街には様々なプレイヤーがいて面白いことを考えている人はたくさんいるが、それが繋がってなくて勿体ないので、そういう人たちが繋がる場を作れるといい。二つ目は何か活動を実際に企画して実行できる組織があること。何かをやりたい人や組織が、気軽に道路を使って何かできるような形になるといい。三つ目は、沿道地権者や事業者などの利害関係者が地域のルールや役割分担について合意形成する場があること。これはまちづくり準備協議会ができていて、地域全体の資産の活用なども含めて議論できるような協議会があることはとても大事。四つ目は、日常的に公共空間などの管理を行うまちづくりの事業組織があること。地域のエリアマネジメントを担う団体として公共からもうまく位置づけてもらいながら、民間としてある程度自由さを持って事業を行えるような形を作っていけるといい。八戸駅西地区では、これら四つの仕組みの基になるような活動や団体はだいぶできているかと思うので、それらを次のステップに向けてどう調整していくか、それぞれの役割を上手に担えるような形をどう作れるかということを今後議論できればいいと思う。



写真6：三牧 氏

【第2部】

6.意見交換

(北辰工業㈱ 院去 公紀)

皆様のお陰で5月5日のオープンにいいスタートを切ることができて、来週中には来場者一万人を達成する見通しとなっている。年間三万人の来場者を見込んでいたペースからするととてもいいペースで進んでいる。

八戸市や八戸駅周辺が盛り上がることを期待して今後いろいろな活動に出ていきたいと思っていますのでよろしくお願いします。



写真7：院去 氏

(フラット八戸 木村 将司)

先日まちづくりの準備協議会の会議があり、やはり盛り上がり隊の集まりに比べると少し硬い雰囲気にはなっていて、それぞれ役割が違うなということは感じていた。盛り上がり隊の定例会に参加すると、この地域に対する思いがとても伝わってきて、フラット八戸としても大変ありがたい。

賑わい創出の活動を継続していくためにも協力していきたいと思っているので、よろしくをお願いします。



写真8：木村 将司 氏

(フラット八戸 高橋 渉)

私も普段盛り上がり隊の定例会に参加させていただいている。皆さんと一緒に地域を盛り上げられるように、協力していきたいと思う。よろしくをお願いします。



写真9：高橋 氏

(奥山 大)

三条小学校、三条中学校の出身で、大学では様々な事業を推進してきた。いつか地元に戻りたいと思って活動してきたのだが、来月より八戸駅東口で法人登記を予定している。これまでは、柏の葉で電動キックボードを走らせたり、石川県小松市でライドシェアをしたりということを手掛けてきていて、来月からは地元に対してできることを頑張っていきたい。会社の相談役には、三条中学校の先輩の八戸学院光星高校の中村校長を据えて、二人三脚でやっていこうと思う。

現在はBeFMというラジオ番組で自分の番組を持っておりパーソナリティをやったりいろいろなことをしている。今後ともよろしく願いいたします。



写真10：奥山 氏

(兵庫大学 宮崎 光世)

八戸市の中心街にヤフーの支社ができて、その立ち上げ時から2020年くらいまで働いていた。八戸IT・テレマーケティング未来創造協議会というのができてからは、その会長をやっていた。その後は大学で教授をしているが、まちづくりの相談を受けることが多くて、今日のお話もとても参考になった。

ヤフーやテレマーケティング関係の人との繋がりもたくさんあるので、そういう人たちを巻き込みながら、まちづくりと一緒にやっていきたいと思った。何かお助けできることがあればと思っているので、是非お声がけいただければと思う。



写真11：宮崎 氏

(まちづくり準備協議会 馬渡 健)

駅西地区の住民です。楽しい時間をありがとうございました。よろしくお願いいたします。



写真12：馬渡 氏

(アーティスト 山本 耕一郎)

中心街のはっちの事業であるまちぐみというものを担当している山本耕一郎と申します。5月5日の8フェスにも参加させていただき大変お世話になりました。ありがとうございました。



写真13：山本 氏

(八戸商工会議所 濱谷 貴乃)

八戸商工会議所でもまちづくりなどに取り組んでいる。人口の推移が増えているお話やいろいろな方が活動に参加して様々な事業をやられているというお話がとても参考になった。ありがとうございます。今後ともよろしくお願いいたします。



写真14：濱谷 氏

(八戸商工会議所 長谷部 美穂)

本日は大変勉強になりました。ありがとうございました。



写真15：長谷部 氏

(NPO青い森の技術者育成研究会 古賀 広幸)

この地域にはシンボルロードが田んぼのあぜ道だった頃に単身赴任でやってきて今年で約7年になる。NPO団体を設立して、子どもたちにITの様々なことを教えている。市民連携推進課とコラボして各小学校でキッズプログラミング教室をしたりしており、今後活動の場が広がればいいなと思い今日参加させていただいた。

本日は大変勉強になった。これから活動が広がるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。



写真16：古賀 氏

(NPO青い森の技術者育成研究会 武部 尚徳)

古賀と同じ NPO 団体で理事を務めている。先程の宮崎さんのお話にあったヤフーに少し前まで勤めており、その縁で今日の会議を紹介いただき今回参加させていただいた。今後も本日のような取り組みがあれば参加して盛り上げていきたいなと思っておりますので、よろしくお願いいたします。



写真17：武部 氏

(八戸学院大学 松山 政義)

まちづくり活動の担い手に大学と入れていただいているが、なかなか参加できていないと思う。やはり大学の先生が来ないと学生も来ないので、どうやって先生に参加していただくかというのがすごく大事なかなと思っている。いまの学生は単位やお金が大事だったりするので、授業以外の時間に来てもらうのではなく、教育の仕組みに入れていくのがポイントかなと思う。

大学にはいろいろなステークホルダーがいて、圏域の様々なところと連携、協力させていただいているので、まちづくりも含めて何か一緒にやれたらいいなと思っている。皆さんからご意見いただきながら、地域連携という点で大学に取り入れていきたいなと思う。よろしくお願いいたします。



写真18：松山 氏

(盛り上がり隊 清野 友佳)

市役所に勤めていて、以前この八戸駅周辺地区まちづくりを担当していたが、今は一住民として盛り上がり隊に参加している。これからも継続して活動できる仕組みとか、楽しみを作れればと思いますので、よろしくお願いいたします。



写真19：清野 氏

(盛り上がり隊 小関 勉)

町内会の会長をしている。山下さんの八戸駅前には空が広がっているというお話で、駅前には建物があるものだという先入観が私にはあったので、そういう見方ができるのだなと新鮮な思いがした。三牧さんの無責任にアイデアを出す場が必要というのも非常に共感した。

南部町に手踊りの名人がいるので、手踊り大会などのイベントをして、若い世代だけでなく上の世代の方々も招くようなイベントもあるといい。かつて浅水川の周辺では小学生の駅伝大会などもしていたので、また浅水川でのイベントなどがあると面白いなと思った。



写真20：小関 氏

(青森県都市計画課 浅井 純子)

県で土地区画整理事業の担当をしており、会議の案内をいただいて出席させていただいた。県内で区画整理事業をしているのは八戸市のこの駅西地区しかないので、是非賑わいのあるまちづくりを頑張ってもらえればなと願っている。ありがとうございました。



写真21：浅井 氏

(㈱まちづくり八戸 柳沢 拓哉)

他の地区の話だが、今日雨が強くて中止になってしまったが、湊橋の小唄踊りと、鮫の駅前で何十年かぶりに歩行者天国をやる予定だった。歩行者天国は中心街だけでなく陸奥湊や鮫などいろんな地区でも出てきていて、今回鮫でやるときに提灯を借りたいという話があったのだが、湊橋の小唄踊りと重なってしまっただけで借りられなかったというのがあった。イベントのときはいろいろな資材をそれぞれの地区で貸し合ったりとかが今後出てくるのではないかなと思ったので、情報共有が大事だなと感じた。今後ともよろしくお願いします。



写真22：柳沢 氏

(慶應義塾大学 金久保 友菜)

ゼミ内で4月から八戸でのプロジェクトが立ち上がり、その関係で八戸のまちづくりに参加させていただいている。今後皆様の活動を教えていただき、参加させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。



写真23：金久保 氏

(慶應義塾大学 丸山 和貴)

八戸のまちづくりについていろいろ活動させていただいている。今朝八戸駅の周辺を散策してみたら、「お結びyou」というおにぎり屋さんがあって、人気メニューのアゲアゲおにぎりというのがとても美味しかったので、是非皆さんに食べていただきたい。まちづくりについていろいろ教えていただければと思う。よろしくお願いいたします。



写真24：丸山 氏

(㈱バリューシフト 栗林 志音)

八戸市で観光まちづくり会社に勤めている。今回初めて参加させていただいたが、ここまで活動されているということと、これだけの方々がそこに関わっているということを知らなかったのが、今日参加できてとても良かったと思う。

市内や周辺市町村でもかなりイベントをやっていて、先程の柳沢さんの仰った通りいろいろな資本があるので、地域や町内会を超えて連携できるとすごくいいなと思った。私自身はイカドンの活動をやっていて、イベントで貢献出来たらなと思っているので、今後ともよろしくお願いいたします。



写真25：栗林 氏

(八戸せんべい汁研究所 木村 聡)

八戸せんべい汁研究所で活動している。箱崎さんの話を聞いて、楽しくやるというのはその通りだなと感じた。私もよく「天才は努力するものに勝てないけど、努力するものは楽しむものに勝てない」という話をする。努力はもちろん大事だけど、楽しむことが一番大事というのを話ながら汁研も21年続けてきている。盛り上がり隊に少し参加させていただいて、8フェスを楽しそうにやっていたいいなと思った。

最後に VISIT 八戸として少し PR があって、ユートリーと八戸駅の間の三つのプレハブすべてに店舗が入った。元々あった産直の他に、はちのへ農園マルシェというソフトクリームメインのカフェと、フードショップモグモグという焼きそばやフルーツサンドを出すお店がオープンしたので、是非利用していただきたい。ありがとうございました。



写真26：木村 聡 氏

(三条小学校 在家 正行)

学校は他社とともに生きる生き方を学ぶところだと考えていて、子どもたちと一緒に頑張っている。コロナ禍に、米作りで作ったお米をバザーで売れなくなったときにフラット八戸さんに一緒にやりませんかと声を掛けていただいたり、箱崎さんたちがやっているラジオ体操の活動の中で、保健委員会の子たちが考えたオリジナル体操を披露する機会をいただいたり、地域発信できる場をいただけて大変ありがたく思っている。5月5日の8フェスでは、我が校の卒業生の三条中学校の生徒がボランティアスタッフとして活躍させていただき、まちづくりに子どもたちが参加できるとてもいい経験をさせていただいた。今後ともよろしくお願いいたします。



写真27：在家 正行 氏

(盛り上がり隊 在家 秀則)

今日は貴重なお話をいただいて本当にありがとうございます。以前市の職員として区画整理の担当部長をしており、その後VISIT 八戸で3年程前まで勤めていた。現在は東北フリースタイルズの参与という立場でまちづくりに何かお役に立てばなということで活動していて、盛り上がり隊の定例会にも度々参加させていただいている。

皆さんのいろいろなお話、貴重なご意見をいただいて、今後も勉強しながら何かお役に立てればなと思っている。どうぞよろしくお願いいたします。



写真28：在家 秀則 氏

(盛り上がり隊 畠山 智)

個人的な思いとして、この駅利用者がもっと使いやすいエリアになってほしいとか、周辺住民にとってもっと便利になるような地域になってほしいとか、駅周辺で商売をしている方がもっと儲かるような地域になってほしいといった皆さんの思いが少しでも形になればいいなと思っていて、少しでもそうなるようにお手伝いができればいいなと思っている。よろしくお願いします。



写真29：畠山 氏

(盛り上がり隊 岡田 英)

地元で市議会議員をやっている。箱崎夫婦がいなければ盛り上がり隊はここまで活動できていなかったんだろうと思うくらい本当にパワフルなご夫婦で、そこに市役所の方や鳥谷部さんや工藤さんなど、熱い思いの人たちがどんどん繋がっていくというのが本当にすごいなと思いながら見てきた。ただ、内情はどうしても箱崎さんたちに負担がかかっているというがあるので、いかに分散しながらみんなで活動していくかというのが今後に繋がっていくと思う。

今日はたくさんの方々に参加していただいているので、是非力を貸していただきながら、北辰工業さんともうまく絡まりながらやっていけたらなと思っている。どうぞよろしくお願いいたします。



写真30：岡田 氏

(盛り上がり隊 工藤 騰)

最初に関わったきっかけは、私エンタメ系の商売をしていて、八戸から映画館が無くなるという情報を聞いて駅西にできないかなというなんとなくの思いで参加させてもらったのだが、ここまで定例会に参加するようになってメンバーと一緒に活動している。最近の懸念は岡田さんと一緒に、箱崎夫婦に元気を出してもらえるよう、今日来ていただいた方には是非いろいろな方などに声を掛けていただいて、一緒に盛り上げてもらえればと思う。

引き続き、運動・スポーツに関わる企画、事業など面白いことを考えて実行していきたいと思っています。よろしくお願いします。



写真31：工藤 氏

(盛り上がり隊 鳥谷部 勇樹)

私が盛り上がり隊に参加したのは、職場である JR の先輩が八戸でこんな面白いことやっているから行ってみればと声を掛けてもらったのがきっかけ。こういう情報を自ら仕入れている人ってそう多くないようで実は結構いるっていうのを肌感覚で感じた。最初は何が何だかさっぱりだったけど自分からも意見を言っているうちに、今日のような会議に参加するまでになっていて、面白いから続けているというのがやっぱり一番の理由。

JR で10月12日に駅祭りをやる話があって、8フェス同時開催どうですかと声が掛かったんだけど、ちょうど学習発表会と重なってしまっていてできないねということがあった。チャンスがあるのにできないというのは残念なので、そういう点でも持続可能性というところで今がちょうど分岐点なのかなと思う。盛り上がり隊のInstagramのアカウントもあるので、皆さんの意見などこれからもしどしただければと思う。よろしくお願いします。



写真32：鳥谷部 氏

(盛り上がり隊 箱崎 彩英子)

楽しく活動させていただいている。最近肩が痛くなってきたんだけど、今日原因がわかった。ちょっとラジオ体操をする機会が減っているんですね。なので、駅やいろいろな場所出張ラジオ体操をやったらいいかなと思ったので、いろいろ面白いことを提案して炎にエネルギーを注いでいきたいと思う。よろしくお願いします。



写真33：箱崎 彩英子 氏

(まちづくり準備協議会 村下 萬)

まちづくり準備協議会はシンボルロード沿いの地権者の集まりだが、ここに賛助会員とか正会員でなくていいから JR から誰か来てもらえると、駅そのものも駅周辺も盛り上がっていくんじゃないかなと思う。新しい人が加わると素晴らしい意見がどんどん出てくると思うので、そうなるといいなと思う。よろしくお願いいたします。



写真34：村下 氏

7.会議の振り返り

(アドバイザー 三牧 浩也)

今日はこの地域への思いがこれだけあるんだなと改めて感じた。街にはいろんな思いを持っている人がいるけどなかなか繋がる機会がないというスライドがあったけど、今日はそういう人たちが繋がるきっかけになったのかなと思う。繋がった上でそれをどう組み合わせて次の行動に繋げるかというのが多分一番難しいところだとは思っているので、盛り上がり隊の定例会などいろいろなところに参加していただきながら、少しでも前に進めるようなことができたかなと思う。今日は本当にいろいろな刺激を受けた。どうもありがとうございました。

(アドバイザー 山下 裕子)

先日久しぶりにラジオ体操をしたんだけど、本当に全身運動なんだなと思って、皆さんには是非盛り上がり隊のラジオ体操に参加していただければなと思う。今日はそれぞれの立場、専門で非常に貴重なご意見をいただきありがとうございます。今日もまた新しいキックオフの機会だと思っているので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

8.閉会